



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2020-2021年度 第13週報 No. 2123 2020年(令和2年)10月16日 第2123回 例会記録 10月23日発行

本日〈10月23日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「手に手つないで」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話 「プロ野球界における新型コロナウイルス対策」
横浜DeNAベイスターズ 総務部部长
青木 慎哉 様
(紹介者 岡部雄一郎 会員)



写真提供 小池 将夫

司会 友添 辰哉 副幹事

点鐘 山本 芳弘 会長

斉唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 茂木 知子 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 長田千鶴子 様(例会見学者)

会長報告 山本 芳弘 会長

- ・10月度定例理事会報告
- ・RI事務局より、この度ベネファクターになりました中野会員に認証状とピンが届いておりますので贈呈致します。



2020-2021年度 RI 会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは機会の扉を開く

第2590地区 ガバナー 吉田 隆男

会 長	山本 芳弘	会 計	白井 康夫
会長エレクト	小山市 康	副 会 計	渡邊 淳
副 会 長	赤堀 和人	S A A	佐藤 勝彦
副 会 長	植田 清司	副 S A A	古澤 一憲
幹 事	田口 健太郎	副 S A A	月山 勇
副 幹 事	友添 辰哉	クラブ会報	池田 広樹

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

- ・2021年の神奈川県消防出初式は、新型コロナウイルス感染防止のため、関係者による式典（表彰）のみの実施となる旨、案内が来ておりますので、ご報告申し上げます。
- ・恒常的な奉仕活動に資するため、神奈川東ロータリークラブ独自の募金箱を会員皆様の事業所や店舗などに置いて頂きたく、設置可否のアンケートを配布致しました。何卒、ご協力のほどよろしくお願い致します。

幹事報告

田口健太郎 幹事

- ・次週例会は、ガバナー補佐の公式訪問です。例会終了後にガバナー補佐をお迎えしてクラブ協議会を開催致します。各委員会委員長の方、レポートの提出期限が本日となっております。提出がまだの方は至急事務局までお願い致します。
- ・横浜東RAC10月第2例会の案内が来ておりますので、回覧致します。

結婚記念日祝

月山 勇 会員（10月19日）



スマイルボックス

佐藤 勝彦 SAA

月山 勇君 結婚記念日のお祝いをありがとうございます。半世紀以上となりました。良く続いたものです・・・。

山本芳弘君 ①本日の卓話、角田さん、北村さん、池田さん、楽しみにしております。②例会時演奏、鈴木さん、ありがとうございます。

青柳 紀君 月山さん、51回目の結婚記念日、お祝い申し上げます。50回を超えると夫婦の危機は終わったネ！良かったネ！

吉田隆男君 角田さん、池田さん、北村さん、卓話楽しみにしております。

山本 登君 秋、真っただ中！

河野明光君 角田さん、池田さん、北村君、本日の卓話、楽しみにしています。頑張ってください。

山田正憲君 角田さん、池田さん、北村さん、本日の卓話、楽しみにしています。頑張ってください。

植田清司君 音楽演奏、楽しみです。昨日、インフルエンザのワクチン打って来ました。

茂木知子さん ～脅迫～北村さん、池田さん、角田さん、卓話引き受けて下さり、ありがとうございます。楽しみにしております。岡部委員長がお三方を私が脅迫して無理やり引き受けさせたのではないかと心配しています。そして、「嫌なら嫌と言って良いんだぞ、訴えても良い、良い弁護士紹介するから」とさらに脅迫しています。

加野亮一君 今日も寒いです。

角野弘幸君 本日欠席です。すみません。

清水茂夫君 角田さん、池田さん、北村さん、本日の卓話、楽しみにしています。

池田広樹君 ガバナー訪問ご一緒させて頂きました。色々な定例会に参加出来、勉強になりました。ありがとうございます。

北村大輔君 長田千鶴子様、ようこそ。ごゆっくりお過ごし下さい。

佐藤勝彦君 ①第3テーブルミーティングご出席の方、ご苦労様でした。加野さん、ありがとうございます。②本日の卓話、「お仕事、天気図」。角田さん、北村さん、池田さん、どんな話になるか楽しみです。

委員会報告

会員増強委員会 委員長 加野 亮一

同好会などの趣味分野での楽しさも増やすと退会減少に役立つと他クラブでも言われておりました。我がクラブでは先日、川柳同好会があり参加しましたのでその時に私が詠んだ句をご披露します。 “全員で 会員勧誘 よろしくね”

10月16日	15件	30,000円
本年度累計		568,770円
年度目標進捗状況		-16%

丹沢の麓で営業をしている蕎麦処の玄関先の犬小屋にマスクをした“タロウ”の姿が…。

コロナ対策、ソーシャルディスタンスの啓発犬か…

食事を取らず一日中立ち尽くす…

ひょっとして…そう…です。

【写真提供 小池 将夫 会員】



出席報告

金森 欣一 出席副委員長

会員総数	51名	(31+20)名
出席会員数	40名	(26+14)名
出席率	88.89%	
ゲスト	1名	ビジター 0名
前回補正後	95.74%	前々回補正後 95.65%

お仕事、天気図

◆北村 大輔 会員



本日は、私の生業でございます、飲食店の現状をご報告をしたいと思います。

飲食店の中でも、自分の業種は簡単に申し上げれば水商売という、今、このコロナ禍で最も敬遠されている業種の一つになります。3月から売上げが下がり始め、4月は4日間だけ営業して、休業要請もあり5月末まで休業しました。6月の売上げは、前年と比べ66%downでした。また、7月も43%down、8月も51%down、9月も40%downし、毎月マイナスが出ています。スタッフも営業を掛け、ママもお客様に手紙を書いてはいますが、ほとんどの方が会社経営者の為、「社員に行くなと言っているから飲みには行けない」と、連絡が返ってきます。

山本会長の本年度のテーマでもあります「いまできることから」、まさにその言葉通り、お店として今出来ることをやるしかない、衛生面の徹底をしてお客様にアピールしていかねばと、入り口に検温と消毒液の設置・各テーブルにも消毒液を置き、スタッフ全員透明なプラスチックマスクを着用させています。お客様が退店した後は、テーブル、ソファや椅子もアルコール消毒をしています。

お店のFacebookやInstagramでお知らせして、スタッフにもお客様に出来る限りの注意を払って営業していることを伝えてもらっています。

今現在の営業体制ですが、通常ですと6～8名、多い時は10名を出動させていましたが、今は出勤人数を一日3～4名にして営業しています。他のお店では、お客様の来店予定があれば出勤ができ、お客様の予定が無く出勤する場合は、時給を半分以下にして人件費を抑えていると聞きました。私のお店は、この仕事だけで生計を立てている方も居ますので、時給は今まで通りで出勤してもらって、生活に困ることが無いように出来る限りのことをしています。この状況が早く収まり、今まで通り働いてもらう為に、今は他の部分で経費削減をして給料に回しています。

私の居る新横浜には、色々な業種の経営者の仲間達が居ます。中でも、篠原町にある焼肉店の「鐵」というお店があるのですが、5年ほど前にオープンしたときに私も関わっていたお店でもありまして、その焼肉店の社長と一番交流があり、今大変な

状況はお互い一緒です。なので、焼肉店に来店したお客様を食事の後にこちらに紹介して頂いたり、逆に私のお店のお客様に食事ですべて頂いたりして協力し合っています。

また、他業種の仲間も我々飲食店を助けに回って来てくれていますが、それでも、もう何軒か閉店したお店もあり、年内で閉店するお店も出てきてしまいました。本当に、悲しい現状です。

年末にかけて、少しずつでもお客様が戻って来てくれることを飲食店のみんなが願っていますが、願って待っていたら体力の無いお店は潰れて行くだけなので、先日、河野さんにヒントを頂き白鳥さんからもアドバイスを頂き飲食店の仲間と今相談しながら、もっと何か出来ることがあるのではないかとミーティングを繰り返しています。

また、私個人もお店をやりつつ新しい事業が出来ないかと、動いているところです。新しい事業が決まりましたら皆様にお知らせしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

これが、今コロナ禍で飲食店が大変困っているという現状です。皆さん、お知り合いのお店やひいきにしていたお店があると思います。少しずつでもその飲食店を使う回数を増やして頂き、これ以上お店が無くならないように助けに行ってください。よろしくお願い致します。

◆池田 広樹 会員



茂木先生からのご指名により、今回の新型コロナの流行により多くの助成金、補助金が支給されたこともあり、その手続きをおこなうことにより地味に儲かったのではないかとお仕事天気図でいえば快晴だったのではないかとという趣旨でお話させていただく機会をいただいたのですが、結論から申し上げますと、業界的には顧問料が基本になっているので、大雨にはならなかったけれど一部少し晴れた程度で、個人的には雨は降らなかったけれど春一番の荒れた天気が開業してから一番しんどい半年でした。

と言いますのも、社労士として通常扱う厚労省の助成金は何種類もありますが、新型コロナによる雇用対策の中心を担う雇用調整助成金は、昨年の実績は30億円程度でしたが、今年度の5月以降、先週の10/9までに1兆7570億円が支給決定されました。昨年実績の実に500倍を超える金額が支給され、リーマンショックと比較しても過去最大だった2009年の6500億円を6か月で2.5倍を上回るペースです。

通常助成金の手続きの業界の相場は、支払われた金額の10%から30%の手数料になりますが、仮に平均をとった15%の手数料だとすると、1兆7570億円×0.15で2625億円となり、全国に社労士は42000人おられますので、一人当たりこの半年で600万円前後の手数料をとっているのでは、という計算が成り立ちますが、なかなかそうはなりませんでした。

本来の雇調金は

- ・事業縮小
- ・休業協定
- ・計画の提出
- ・休業
- ・休業手当を支払って
- ・支給申請

という手続きをとりますが、紙ベースで必要な書類は100万円の申請あたり0.5センチくらいになります。

今回振り返りますと、3月の後半あたりから申請窓口が2時間待ち以上になりはじめ、4/7の緊急事態宣言以降は問い合わせの電話は全く繋がらなくなり、窓口も三密対策で出勤する職員が半分になり、ますます混雑するという状態になっておりました。

私の一部のおお客様の事業主さんは、かなり深刻な状態になりました。節目ごとに行われる総理の発表とそれを聞いた事業主さんの理解に開きがあることもあって、緊急事態宣言中でしたが、雇調金の現状の説明に回りました。途中池袋ハローワークで職員さんの感染があり、池袋ハローワーク閉鎖もあって焦りましたが、総理の発表と事業主さんの理解の最大の開きは、雇調金は一旦支払った「休業手当」が後から戻ってくるものなので、そのことを説明すると、皆さん「で、いつ、いくら戻ってくるのか?」と聞かれるのですが、4月中は「一人当たり8330円、書類がそろった場合に受理してから2週間程度で支給する」と小さく書いてあります、と説明をすると、深刻な状態の事業主さんからは「4月分の休業手当を支払うとして、次の給与の支払いまでに助成金は振り込まれるのか」とそのあとに続く「売上のめどが全く立たなくなった中でいざに休業するよりは、従業員は解雇をしなくてはいけないのではないか」との質問に答えられずにおりました。

行政の対応は4月中においては毎週変更があり、なるべく簡素化するよう努力されておりましたが、担当官が「助成金の原資は公金なので、公金から支給される以上、きちんと法律はまもっていただき、必要な手続きはとっていただきます」という趣旨の行政官としての矜持を示す発言もありましたが、人員は変わらず、むしろ3密対策で半減している中で、昨年の500倍以上の予算をさばけと言われても厳しく、その間にも一向に進まない雇調金の手続きに不満の声が大きくなり、手続きが煩雑すぎだとの声にこたえて5月14日に一気に変更がされました。この変更で20人程度の事業者の提出書類は、「申請書3枚と税金の裏付けのいらぬ売上を示す書類、出勤簿、賃金台帳だけで、一人1日最大15000円支給されるというものでしたが、一番の衝撃は「緊急性に鑑み労働法を守れていなくても支給する」とQ&Aに記載されていたことでした。

労働法を守らなくてもよい申請ならば社労士の手は必要ないので、手数料をいただくこともなく、申請においては6月以降は申請書類のアドバイスだけなので顧問先以外の事業主さんの

申請のお手伝いもできるようになりました。申請の方はものすごい勢いで伸びていきましたが、雇調金が支給されても社会保険料の事業主負担がなくなるわけではないので、緊急事態宣言が収まってもなかなかお客様が戻らない業種もあり、7月以降は事業をいったん中止する顧問先もあり、無念な離職票を提出することが多くなりました。

今後も大変な事態が続きますが、大型の補助金、助成金が組まれておりますので、すこしでも事業主さんのお手伝いできればよいなと思っております。

◆角田 伯雄 会員



コロナ禍における、仕事上の特別な変化はあまりないように思います。

昨年、一昨年の台風の影響で屋根瓦の修復にはたいへん忙しい思いを致しました。

山本会長の自防であります遍照院でも本堂の屋根瓦が落ちまして、直させてもらいました。

また、平成20年には、創建550周年の記念事業で山門の瓦の葺き替えを致しました。ご存じの方も多いと思いますが、遍照院は山門の前に京浜急行の踏切があるという珍しい場所で「踏切寺」として有名なところですが、秩父の宮大工さんが山門を一度境内の中へ曳家をして綺麗に修復したのちに瓦を載せ、元の位置へ戻す大変な工事でした。瓦は愛知の三州瓦を使いますが、有名なお寺の修復と聞いて窯元が事前に調査しに来るほどでした。瓦の本葺きは三分の一を重ねて施工します。軌道から数十センチに屋根がある中、10年たった今でも、振動や風圧に耐えております。

以上、瓦職人の一端の話でした。参考になれば幸いです。新型コロナウイルスの早い終息をお祈り致します。

◎次週10月30日 休会

次回〈11月6日〉の予定

「ロータリー財団の奨学金制度の概要」

地区奨学金・学友・VTT委員会 委員長 福與 暁夫 様
(紹介者 白鳥 厚夫 会員)